

探訪 ビジネス

小松電機産業(株) (鳥根県松江市)

新型シートシャッター 門番「Gシリーズ」発売

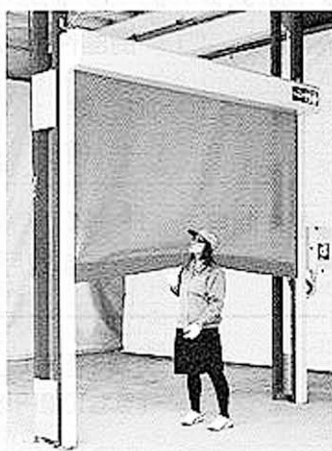
センサーで自動開閉するシートシャッター「門番」を製造する小松電機産業(株)は、中間パイプ付きの現行製品の門番「KVシリーズ」に加え、6月1日、従来製品に比べ気密性が18倍アップしたパイプレスの「Gシリーズ」を発売した。シートの上昇速度は秒速3m(従来の3倍)で、気密性と合わせ業界トップの数値を達成。シート下降時、障害物に当たってもすぐに停止し、低速(秒速0.5m)で上昇する機能を付け、安全性を高めた。気密性と速度、安全性から、クリーンルームに最適。

現在、同社はシートシャッターの国内シェアが30%(累計販売台数は12万台)に及ぶとされ、高速シートシャッター納入実績で最多を誇る。

「門番」は昭和60年から発売、工場の空調効率改善効果、防虫効果などから普及が進み、精密機械工業、食品など各分野に普及。防虫効果を高めたオプトロンシートなどHACCPに対応した高レベルの衛生シートなども揃えている。「Gシリーズ」の価格は幅3m、高さ3mサイズで90万円(施工費別)、初年度1千台の販売を計画している。「Gシリーズ」のGはグローバル。アジアへの販売を強化する方針で、すでに韓国・ソウルに支社を開設、2名の社員を常駐させた。ここを拠点に中国への販売も視野に入れている。

鳥根県でベンチャー企業と言えば、まず同社の名前が出てくるほど、知名度は高い。地元屈指の高収益企業で、自己資本比率は93%(平成21年3月期)に及び、安全性が高いのが強みだ。平成6年10月に開発された上下水道計測・制御・監視システム「やくも水神」もNTTドコモの最新データ通信システムを利用し、ローコストで信頼性の高いシステムを構築。全国190の市町村(約4,600ヶ所)で採用され、「門番」と並ぶ重要な収益事業に成長している。

代表小松昭夫氏は財団法人自然科学研究所・理事長を兼務。同研究所は江戸時代に出雲地方で治水事業を進めた、周藤彌兵衛、清原太兵衛、大槻七兵衛の小説、児童文学、漫画をセットで出版するなど、平和・環境・健康をテーマとする活動に取り組んでいる。



下降時、女性(障害物)に当たってもすぐに停止し、低速で上昇する、安全性に優れた、門番「Gシリーズ」

企業概要

小松電機産業(株) (企業コード: 690078666)

【本店】 鳥根県松江市乃木福富町735-188
 【創業】 昭和48年2月
 【設立】 昭和56年12月
 【資本金】 1億円
 【代表】 小松 昭夫氏
 【電話】 050-3161-2490

【事業内容】 シートシャッター「門番」、上下水道計測・制御・監視システム「やくも水神」製造
 【従業員】 91名
 【売上高】 34億3,600万円
 【HP】 <http://www.komatsuelec.co.jp/>